

科目名	ドローイングB							年度	2026
英語科目名	Drawing B							学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科四年制 マンガコース 3年次	必/選	選4	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	水野裕佳	教員の実務経験		有	実務経験の職種		画家		
【科目の目的】 この科目では、紙という二次元に鉛筆によって三次元空間を表現するための様々な技術を身につけ、しっかり物を見る力を培い、表現できるようになることが目的である。									
【科目の概要】 就職活動で活用できる実践的なデッサン力を習得します。									
【到達目標】 デッサンの基本的要素(構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など)を理解します。また、描写技術と同時にものを見る力(観察眼、審美眼)を養うことで創作活動の基礎を強化することを目的とします。									
【授業の注意点】 課題提出締め切り日を厳守してください。社会への移行を前提としたマナーで授業に参加してください。 授業理解度・課題制作の進捗状況等により授業内容を変更することがあります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	細部まで注意が払われ、精密で正確なディテールが描かれている。		形状や輪郭が適切に表現されている。		形状や輪郭が適切に表現されていない。				
到達目標 B	自らのアイデアや感性を表現し、個性が感じられる作品である。		対象物を正確に観察し、それを効果的に再現している。		対象物への観察不足により的確に再現されていない。				
到達目標 C	受けたフィードバックや修正が適切に取り入れられ、作品が向上している。		受けたフィードバックや修正が取り入れられている。		フィードバックに対する表現がされていない。				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 デッサン用具、筆記用具、クロッキー帳									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ドローイング B			年度	2026
英語表記		Drawing B			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	静物デッサン	応用的な静物画の描き方を理解する	1 鉛筆デッサン・クロッキー	構図と質感を考慮して描写する	3	
2	静物デッサン	応用的な静物画の描き方を理解する	1 鉛筆デッサン・クロッキー	構図と質感を考慮して描写する	3	
3	静物デッサン	応用的な静物画の描き方を理解する	1 鉛筆デッサン・クロッキー	構図と質感を考慮して描写する	3	
			2 講評			
4	人物デッサン	人体のプロポーションと質感の違いについての応用	1 鉛筆デッサン・クロッキー	人物のプロポーションと質感を理解する	3	
5	人物デッサン	人体のプロポーションと質感の違いについての応用	1 鉛筆デッサン・クロッキー	人物のプロポーションと質感を理解する	3	
6	人物デッサン	人体のプロポーションと質感の違いについての応用	1 鉛筆デッサン・クロッキー	人物のプロポーションと質感を理解する	3	
			2 講評			
7	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1 鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
8	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1 鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
9	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1 鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
			2 講評			
10	選択課題	選択課題	1 鉛筆デッサン	選択課題をやる	3	
			2 水彩画			
11	選択課題	選択課題	1 鉛筆デッサン	選択課題をやる	3	
			2 水彩画			
12	選択課題	選択課題	1 鉛筆デッサン	選択課題をやる	3	
			2 水彩画			
			講評			
13	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1 鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
14	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1 鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
15	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1 鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
			2 講評			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等